

2008年11月21日

mail ニュース

13・通巻201号

自治労連 都庁職

自治労連都庁職員
労働組合

発行人 米山隆史

TEL 03-5381-0250

全労連・東京地評が 争議支援行動を行う

全労連と東京地評は11月21日、恒例となっている争議支援総行動を行いました。AからEまでの5コースに要請コースを加えた6コースに分かれて、「大企業は社会的責任を果たせ！貧困と格差の是正、働くルールの確立を！」をスローガンにして争議になっている企業などを回りました。

参加したDコースの最初の企業は、中野駅からバスで15分程度の有限会社「つかれ酢本舗」というところでした。ここでは、系数さんという方が不当配転に対して闘っています。2005年7月に突如、製造部への配転命令が下され、団体交渉解決を目指していましたが、解決しないため、東京都労働委員会に救済を申し立てました。

しかし会社側は新たなポストをつくってまで系数さんに対して再配転を強行、都労委での審問が終了し、「和解案」が出されるまでの間に、会社側は系数さんに対して、訓戒、出勤停止、訓戒、休職などの処分を連発して来ました。系数さんは、この理不尽な仕打ちに対して屈することなく、闘っています。

この日も、会社側は居留守を使い、交渉団の申し入れを拒否したため、申し入れ書をポストに投函せざるを得ませんでした。

また、ここでの争議支援行動には、最近、突如の閉鎖で新聞を賑わせた認証保育所「ハッピーマイル」の労働組合も参加しました。

今日回った企業などは、要請コースも含めると32にも上ります。11万人リストラを強行しているNTTや国鉄労働者1047名解雇争議は有名ですが、それ以外にもこんなにたくさんの争議があるとは驚きです。

近年の自治体におけるとめどのない民間開放や拡大する官製ワーキングプアを考えると、私たちも他人事とは言ってられません。同じ労働者として、「憲法を職場と地域に生かす」ためにも、すべての争議が解決するよう、署名の取り組みなど、ご協力をお願いします。